

年長組(5歳児) 1月指導計画 あやめ台幼稚園

予想されるこどもの姿	経験・活動、行事	家庭・地域との連携	アプローチのポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>冬休みの思い出(食べたこと、出かけたこと、遊びなど)について教師や友だちにすすんで話す</li> <li>冬の寒さを感じ自然の様子に気づき、霜柱や氷を探して楽しむ</li> <li>最後の学期が始まったことを自覚し、小学校進学に向けてふさわしい行動をしようとする</li> <li>2月の発表会に期待をもち、自由遊びの中でもすすんで練習しようとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>始業式</li> <li>うどん作り</li> <li>抜き打ち防犯訓練</li> <li>ECC</li> <li>観劇「アラジンの大冒険」</li> <li>あやめ台小学校訪問</li> <li>誕生会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休み中、不規則になりがちだった家庭生活からリズムを取り戻してもらえよう声かけする</li> <li>うどん作りの際は衛生に配慮して取り組めるように、エプロンの持参や爪を切ることを伝える</li> <li>色盲検査や視力検査の結果が気になる子どもの保護者には結果を伝え、必要に応じて眼科を受診するように勧める</li> <li>修了式の際に配布する「サイン綴り」の原稿を家庭で書いてくるように手紙で知らせる</li> <li>卒園後のミニ同窓会の日程を知らせるためのハガキを持参するよう呼びかける</li> <li>あやめ台小学校を訪問し、教室や特別室など、小学校のつくりを見学させてもらう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新年を迎えたことを自覚し、さまざまな面でこれまでよりも成長しようとする意識をもち生活できるようにする</li> <li>2学期の発表会を踏まえ、より積極的に友だちとかかわったり意見を交換したりしながら活動を進めていけるように援助する</li> </ul>

ねらい(以後継続するねらいも含まれる)	援助・配慮
<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい持ち方を意識して鉛筆を持つ</li> <li>最後の学期であることを意識して、一日一日を大切に過ごす</li> <li>冬の自然の様子に気づき、すすんで観察したり試したりする</li> <li>教師に対し、正しい言葉遣いで話す</li> <li>忘れ物の確認をし、自分で持ち物の管理を意識して行う</li> <li>道具箱の整理を行い、補充が必要な物を自分で保護者に伝える</li> <li>保育室の掃除を自分たちで行う</li> <li>箸の持ち方、使い方を確認し正しく使う</li> <li>小学校の生活の流れについて知る</li> <li>歌い方を意識してきれいな声で歌う</li> <li>食事の大切さを知り、積極的にさまざまな食材を食べようとする</li> <li>手洗いうがい、病気の予防に引き続き意識を向け、体調を整える</li> </ul>	<p style="text-align: center;">援助・配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい文章で自分の気持ちや何をして欲しいかななどを言えるように指導していく⑨⑤</li> <li>幼稚園以上に教師と生徒(子ども)の立場が確立していることや、大人に対して正しい言葉遣いで話すことの大切さを知ることができるようにし、実践できるよう呼びかけていく⑨④</li> <li>小学校ではお手拭きタオルを掛けて使うことはないため、ポケットにハンカチを入れておくことの重要性を伝えて自分で持ち物の管理をする意識が育まれるようにする②①</li> <li>手紙は自分で折って持ち帰るように、配布物がある時に折る練習をする②</li> <li>年末の家庭での大掃除を話題に上げ、幼稚園でも自分たちの使っている物や場所を整理し掃除できるようにしていく④②</li> <li>小学校では毎日掃除の時間があることを伝え、小学校生活のイメージをもてるようにする④②</li> <li>雑巾の絞り方やちりとり等の使い方など、必要に応じて個別に援助していく②①</li> <li>小学校では箸を使って給食を食べることを伝え、箸を使って食事がとれるよう励ましていく①④</li> <li>持ち方が苦手で定まらずにうまく箸を使えない子には、個別で少しずつ無理なく使えるように指導する①④</li> <li>正しく箸を使える子には、刺し箸やなめ箸はしない等のマナーについて指導し、人に不快な思いをさせない気配りの大切さを伝えていく④⑤</li> <li>絵本や掲示などから小学校のさまざまな活動を想像したり、幼稚園との違いや類似点を考えたりできるようにする⑥⑧</li> <li>きれいな声で歌を歌う意識をもてるように励ましていく⑩</li> <li>料理に何の食材が使われているか、どんな栄養があるのか知り、バランスを考えた食事を心がけられるように話題にあげていく①⑦</li> <li>インフルエンザや嘔吐性の風邪の怖さ話を話して、手洗いうがいの徹底のほか、嘔吐物には触れずに教師に知らせるように指導する①</li> </ul>

<10の姿>①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

	ねらい	内容	環境構成	援助
第1週	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちや教師との再会を喜び、すすんでかかわる</li> <li>自分の体について知り、興味をもつとともに、大事にしようとする</li> <li>友だちと話し合いを進めたり意見を伝え合ったりする大切さと楽しさを味わう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こま回し、すごろく、福笑いなど伝統的な日本の遊びを楽しむ</li> <li>くじ引きでグループ決めを行い、3学期の生活に期待感をもつ</li> <li>色盲検査、視力検査をおこない、自分の体の状態を知る</li> <li>オペレッタ(または指人形劇)の配役や楽器の分担、必要な道具類についてなど話し合いで決める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福笑いやすごろくなど、子どもたちが自由に遊べるように設定する⑧⑥</li> <li>大きな紙やさまざまな素材を用意し、子どもが使いやすいようにする⑩⑥</li> <li>園庭にラインを引き、凧あげをしたい子は他の遊びをする子とぶつからないようにそのエリアで進行方向を考えて遊べるようにする①③</li> <li>落ち着いた静かな環境で検査を行えるようにスペースを確保する</li> <li>点字ブロックや点字絵本に触れることができるようにする⑤⑧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊び道具は自分たちで作ることもできることを伝え、既製品や教師の作った物を参考にしながら自由な発想で楽しんで遊べるように、必要に応じて声掛けしていく⑩⑧</li> <li>カルタやすごろく遊びを通して、遊びながら楽しく数字や文字への興味をもてるようにする⑧⑨</li> <li>福笑いは2人1組になって友だちに各パーツを渡してもらい進めると遊びやすいことを伝え、かかわりを楽しみながら遊べるように配慮する③</li> <li>レジ袋やひもなど身近なものでたこを作れることを伝え、自分たちで工夫したり教え合ったりできるように配慮する⑩</li> <li>冬休みの間の経験を発表しあい、他の人が行ったことに興味をもったり自分でもやってみようとしたりできるような場を作る⑩</li> <li>グループ名のテーマ決めはクラス全員で意見を出し合い、普段積極的に意見を言えない子も言える雰囲気を作っていく③⑨</li> <li>意見が割れた場合、どうやって決めるのがいいか教師が決めるのではなく、子どもたちが方法を考えられるよう声掛けしていく⑨③</li> <li>くじ引きで決まったメンバーで意見を出し合い、全員が納得してテーマにそったグループ名決められるまで十分な話し合いの時間を設ける⑨④</li> <li>自分の力でグループ表の名前を書き、1学期に比べて成長を味わえるよう配慮する⑧</li> <li>先に検査が終わった子は、検査内容を他の子に言わないように約束する④</li> <li>生きていくうえで視力は大切であることを伝え、テレビや本を見る姿勢や、明るさなどに気を付けて過ごせるよう子どもたちと健康について話し合う①</li> <li>視覚障がいのある人が生活するための工夫や設備等について知らせ、改めて身近な環境に意識を向けられるようにする⑤④</li> <li>劇の配役決めや楽器のパート決めでは、2学期の発表会で決めたときのことや、譲ったり譲ってもらったりしたことを伝え、話し合いで決められるようにする④⑨</li> <li>どの役や楽器も大切な役割があることやそれぞれのよさを伝え、希望どおりに選ばなかったとしても前向きに取り組んでいけるよう励ましていく④</li> <li>とり入れたい歌や歌詞を子どもたちにも考えてもらい、その意見もおもていで自分たちで作った意識をもてるようにする⑥</li> </ul>
第2週	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な材料を使って調理を楽しむ</li> <li>戸外で体を動かして遊ぶことを楽しむ</li> <li>友だちと協力して作品や音楽、話などを作る楽しさを味わう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋に種をまいた大根や、畑で育った葉野菜を収穫し調理に期待をもつ</li> <li>小麦粉の感触を楽しみながら、うどんづくりに取り組む</li> <li>うどんができるまでの過程を体験し知る</li> <li>自分たちが年中の時に仕込んだ味噌で味付けすることに期待をもって調理をする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>収穫の際、植えた時との畑の様子の違いにも気づけるように声掛けしていく⑦⑥</li> <li>調理して食べることに期待をもって収穫できるようにする。また、収穫の際にはどれくらいの量が必要かなど、数量にも興味をもてるように声掛けしていく⑦⑧</li> <li>材料の小麦粉で他にどんな物が作れるのか紹介したり知っていることを話し合ったりして食に興味をもてるようにする⑤⑥</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・字に興味をもち、自分で読んだり書いたりする</li> <li>・緊急時の合図を聞いて非常事態だと認識し、安全に行動する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッジボール、なわとび、色鬼などルールがある体を動かす経験や活動にすすんで取り組む</li> <li>・手遊び歌や鼓笛の練習に取り組み、友だちと一緒に歌ったり演奏したりする表現を楽しむ</li> <li>・様々な材料や方法でオペレッタや指人形劇の大道具、小道具づくりに取り組み、発表会に期待する</li> <li>・サイン綴りに載せる文章を保護者と一緒に書く</li> <li>・9月から継続している郵便ごっこに改めて意識を向け、友だちや教師との手紙のやりとりを楽しむ</li> <li>・緊急時の笛の音、または一斉放送を聞き、落ち着いて教師のそばに集まり避難する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の短縄だけでなく、大人数で飛べる長縄も用意する①③</li> <li>・子どもたちが自発的に遊び始められるよう園庭にドッジボールのラインを引いておく③①</li> <li>・子どもたちの励みになるように、練習をしたら自分でシールを貼るなどして、どれだけ行っているかを可視化して達成感を味わえるようにする②⑧</li> <li>・見本を担当が用意し、記入のイメージをもてるようにする⑧</li> <li>・実際の年賀状を見せて、伝え方にもさまざまな方法があることが分かるようにする(写真、文字、絵など)⑩⑧</li> <li>・郵便ごっこに使える紙やシールの他、子どもの需要に応じて素材を提供できるように準備する⑧⑩</li> <li>・子どもが見ながら文字を書けるように50音表を出しておく⑧</li> <li>・身の回りにある物で、防御に使えるような物を手近に引き寄せ不審者を近づけないための環境を作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物以外のお麦粉の使い道（小麦粉粘土やのり）も振り返りこれまでの活動とつなげていく⑥</li> <li>・小麦粉が変化していく様子を楽しめるように声掛けする⑥</li> <li>・手伝ってくれる保護者や職員に感謝の気持ちをもてるように呼びかけていく⑤</li> <li>・これまでの調理を思い出し、道具の名前や切り方、約束などを自分たちでも考えて取り組めるようにする⑤⑥</li> <li>・ルールを理解できない場合は、子ども同士で伝え合うことができるように指導する。またトラブルの際は自分たちで話し合って解決できるように援助する⑨③④</li> <li>・固定のルールだけでなく、遊ぶ仲間同士で話し合ってルールを決めてもよいことを伝え、多様な遊び方ができるよう見守っていく⑩③④</li> <li>・縄跳びや鉄棒の技など、できた子の姿をクラス全体で見せることにより、その子の自信や他の子のやる気につながるよう配慮する①</li> <li>・子どもたちが興味をもてるようになわとびの様々な遊び方を紹介する①⑧</li> <li>・製作には絵の具、クレヨン、鉛筆、ビニールテープ、筆、スポンジなど、これまで使用したことのある様々な画材や道具、方法を使って、個々に役割を分担して取り組めるようにする⑩⑧③</li> <li>・同じ役や楽器の友だち同士で合わせる楽しさも味わえるように、様子を見て個別練習から複数人での練習を提案していく③⑩</li> <li>・自分が成長した時にどんな人になりたいか、前向きなイメージをもって想像できるように話をする。また、具体的な職業ではなく、「優しい人」などの抽象的表現でもよいことを伝え、じっくり考えられるように保護者にも伝える②⑤</li> <li>・冬休みに担任から送った年賀状や寒中見舞いをもらってどうだったか、家には他にも届いたかどうかなど話題にあげ、文字で気持ちや感謝を伝える方法に関心をもてるようにする⑧⑨</li> <li>・手紙には、さまざまな色使いや表現方法があることに気づき、どんな表現をすればどのように相手に伝わるか考えられるように話題に取り上げる⑩⑨⑧</li> <li>・冬休みのおけいこで電話番号やひらがなの練習をしたことを振り返り、それぞれ頑張ったことを認め自信をもてるようにする⑧②</li> <li>・どのように行動するべきか、その時のクラスの状況と不審者の状況によって緊急時マニュアルに則りつつ臨機応変に対応し、子どもたちの安全を守る</li> <li>・パニックにならずに教師の話を開けるよう、教師自身が落ち着いた態度で子どもたちに接し、安心することができるよう配慮する</li> <li>・非常事態解除の放送が流れたら、今のは訓練だったことを伝えるとともに、いつ同じことが起きても教師の話をよく聞いて行動できるように振り返って話をする⑤⑥</li> <li>・園に不審者が入ってきた時だけではなく、園外においても同様の危険を意識して、「いかのおすし」を忘れずに行動できるように伝えていく⑤</li> </ul>
<p>第3週・第4週</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな表現を見て楽しむ</li> <li>・小学校入学に期待をもつ</li> <li>・節分に期待して、製作や準備に楽しんで取り組む</li> <li>・発表会の練習に意欲的に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劇団の劇を観賞し、自分たちの劇とは違う表現や舞台装置などに興味をもつ</li> <li>・他クラスや他学年と練習を見せ合い、互いの良い所や頑張りに気づき認め合ったり励ましたりする</li> <li>・影絵のDVDを観賞し、特徴的な表現方法を楽しむ</li> <li>・小学校を訪問し、校舎の見学をして幼稚園との違いや小学校の環境を知る</li> <li>・友だちや保育者と、鬼についてさまざまな想像をし、相談しながら鬼づくりやマスづくりに取り組む</li> <li>・音楽発表会で行う手遊びや司会に期待をもち、内容を決めたり練習したりする</li> <li>・練習を繰り返す、上達することによって感じられる楽しさを味わう</li> <li>・課題を自覚し、すすんで克服しようとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と事前に打ち合わせを行い、校長先生(または教頭、教務)から子どもたちに話をいただけるようお願いしておく⑤</li> <li>・鬼の昔話の素話や絵本の読み聞かせをしてさまざまな鬼のイメージをもてるようにする⑩④</li> <li>・司会の言葉が決まったら、紙に書いて貼り、子どもたちがいつでも見られるように設定する⑧</li> <li>・マナーを守って観賞できるよう、大勢が見る際の約束事を子どもたちから聞き出し、意識できるようにする④⑤</li> <li>・プロの演技を見ることでその表現を楽しみ、より深く物語の世界に入りこめるようにする⑩</li> <li>・観劇で見た表現で自分たちの発表会で真似したり活かしたりできることがあるか話し合い、感想と共に子どもたちの意見を引き出していく⑩</li> <li>・発表会練習では最年長学年として手本となれるような発表を心がけるよう伝える②④</li> <li>・最高学年の意識をもてるよう、普段からどのような姿勢がよいか子どもたちと考えながら練習していく④</li> <li>・年中少組の発表を見てよかった所、頑張っている所に気付けるように言葉かけする⑩</li> <li>・鼓笛演奏では友だちと合わせる難しさに気づき、自分の音だけではなく周りの音にも意識が向けられるようにする⑩</li> <li>・影絵は物語を楽しむだけではなく、何でできているのか、どう映しているのか考えられるよう話をする⑩</li> <li>・小学校ではどんなことが楽しみか、心配なことがあるか事前に意見を出し合い、当日は目的意識をもって見学を楽しめるようにする⑨⑤</li> <li>・実際に1年生の教室に入り様子を見ることで、進学に対し具体的なイメージや期待をもてるようにする⑤</li> <li>・授業の様子や行間休みの様子など小学生の姿を見て憧れをもてるような声かけをする⑤</li> <li>・小学生の挨拶を参考に、自分たちも積極的に挨拶をしていけるよう励ましていく④</li> <li>・行き来の際に、道路の安全な歩き方についても再確認し、小学校への登下校を意識できるようにする⑤⑥</li> <li>・園に帰ってから、子どもたち自身が気づいたことや新たに感じたことなどを話し合い、共有するための時間を設ける⑨⑧⑤</li> <li>・自他の意見をおりませ、クラスで1体の鬼を作り上げることを楽しむ③</li> <li>・鬼作りでは模造紙に寝転んだ担任を鉛筆でなぞり、爪や歯など細部にも興味をもって等身大の鬼作りを楽しむようにする。また、人間の体の部位や形、名称にも意識を向けられるように話をする⑩</li> <li>・以前と比べよくなっている部分を客観的に伝え合い、自分たちの成長に自信をもてるようにする⑨⑩</li> <li>・これからの課題についても意見を述べ合い、何が必要か自分たちで考えるための時間を十分に設ける②③</li> <li>・自ら発言することが少ない子には、教師から声をかけ意見をみんなの前で言える場を設ける⑨②</li> </ul>	

